

R7年度「里海フィールド実習」

2025年8月25～27日に実験所で合宿の「里海フィールド演習」を開講しました。本実習は、中国四国地域の国公立大学農学系学部間の単位互換協定に基づいて毎年実施されており、今年も岡山大学、山口大学、鳥取大学、島根大学、香川大学、愛媛大学から1～3回生の16名が参加し、フィールド実習を行いました。実習では、初日に広島大学練習船「豊潮丸」での乗船実習後、実験所のある竹原市明神港にて上陸し、実験所でのフィールド実習にうつりました。フィールド実習では、竹原市に残された貴重な自然干潟である「ハチの干潟」の現地観察と、干潟のアマモ場と泥場それぞれでの底生動物サンプリングを通じ瀬戸内海の生物多様性を支える干潟生態系の豊かさを実感してもらえたものと思います。採集したサンプルは実験所に持ち帰り、底生動物の同定と計数を行ったうえで、統計解析ソフト「R」を用いた群集解析実習を行いました。当実験所では、その他、調査船「カラヌス丸」に乗船しての海洋環境観察や、実験所前の海岸でのシュノーケリングを通じ瀬戸内海生態系を様々なアプローチで実感してもらえたと思います。

来年度も開講予定ですので興味のある学部生の皆様、他大学の先生や学生と交流を深めつつ夏の瀬戸内海を体感できるこの実習をぜひ受講しに来てください！！



干満差大きな瀬戸内海特有の
広く干出した自然干潟での
生物採集実習



他大の仲間と交流を深めつつ
協力して実習成果をまとめていくのも
この実習の特色です



実験所前に広がる海での観察体験

